



ダイバーシティ戦略は〈おんなの活躍〉から

～社長も納得!会社も社員もみんなハッピー～



遠藤香那子氏、栗原朋子氏

新潟グループではダイバーシティ戦略の最重要対象である「女性」に的を絞り、女性活躍をテーマに研究を開始した。女性活躍の度合は女性管理者比率で推測可能と想定し、女性活躍推進はトップダウンでの意思決定が必要であり、トップが納得できるような提言であれば「みんなハッピー」が実現できると考えた。

まずは国や新潟県の制度「くるみん認定(子育てサポート企業)」、「ハッピーパートナー企業(新潟県男女共同参画推進企

業)」、「トキっ子クラブ(子育て家庭への優待サービスを行う組織)」を調査。「男女が共に働きやすい職場環境」「仕事と家庭の両立」「女性の能力活用」の3要素を中心に調査を進めた。比較したところ「ハッピーパートナー企業」が経営者への提言として適切であった。

アンケート、ヒアリングを14社で実施したところ、推進レベルとハッピーパートナー企業には相関関係があることが判明した。女性社員の割合や男性の育児休暇率は特に顕著であった。

研究のまとめとして女性活躍推進は経営者が納得する制度を適用し、トップダウンで推進することが有効という結論を得た。「男女が共に働きやすい職場環境」「仕事と家庭の両立」「女性の能力活用」の3要素を意識した取組は、経営者と社員のお互いがハッピーになる方法の1つである。この研究が女性の活躍できる職場作りに

役立つことを願ってやまない。



地方の実情を踏まえ、地元の目線に立った研究活動であること、アンケートの結果を協力いただいた企業へきちんとフィードバックを行い貢献をしている点などを評価。女性活躍をテーマにした研究活動ですが、実際に行政などの認定制度を利用した中小企業社長への啓蒙社会活動を実践しています。アンケートやヒアリングを実施し、それをまとめ、各企業にフィードバックして成果を得ていることは素晴らしいことですね。

栗原 朋子*	オーエムネットワーク㈱
玉木 理絵**	㈱エヌ・シー・エス
遠藤 香那子*	㈱シアンス
高野 裕美子	㈱アドバンストラフィックシステムズ
小柳 和香	㈱エヌ・シー・エス
富樫 正哉	オーエムネットワーク㈱
田辺 雅一	㈱新潟県農協電算センター
上村 京子	㈱メビウス
五十嵐 良則***	ユニアデックス㈱

* リーダー ** サブリーダー *** アドバイザー